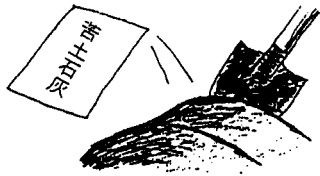
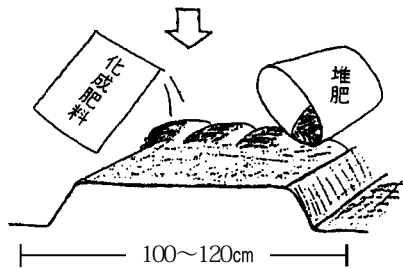


### ①畑の準備

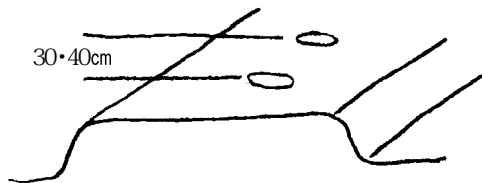


は種10日前に10㎡あたり苦土石灰1.2kgを施しよく耕します。

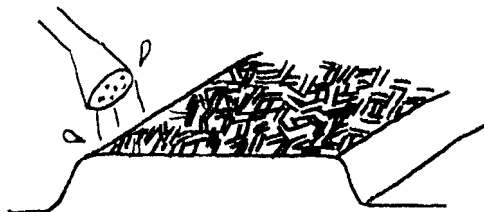


基肥として10㎡あたり堆肥30kgと化成肥料400gを施し100~120cm程度のうねを作ります。

### ②植えつけ



株間30cm(石川早生) 40cm(セレバス)  
覆土5~10cm(マルチは10cm)

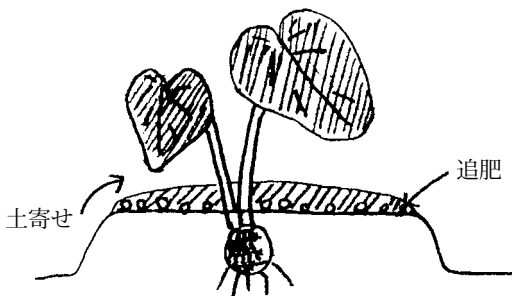


稲ワラ、堆肥などを敷き十分にかん水します。



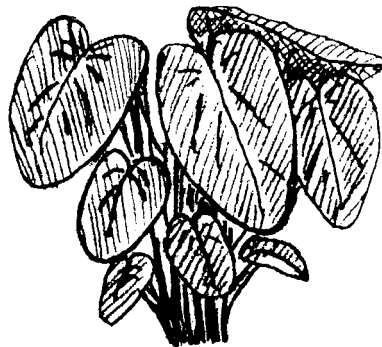
2cmほど芽出しをしておくとそろいがよい。

### ③植えつけ後の管理



植えつけ後1ヶ月おきに追肥を10㎡あたり化成肥料300g施します。(3回)追肥と同時に土寄せを行います。

### ④収穫



イモが太っていればいつでも収穫できます。  
収穫期 10月(普通) 9月(マルチ)

今月植える(まく)野菜	今月収穫できる野菜
キュウリ、ピーマン、スイートコーン、カボチャ、インゲン、ニンジン、スイカ、エダマメ、トマト、シロウリ、コカブ、ナス、マクワウリ、チンゲンサイ、オクラ、ショウガ など	イチゴ、キャベツ、ゴボウ、パセリ、ニラ、ブロッコリー、葉ゴボウ、キヌサヤエンドウ、タイサイ、ワケギ、グリーンアスパラガス など

# 楽しい家庭菜園

県農業試験場  
黒川 領太

## サトイモ

インドから中国南部にかけての熱帯地方原産のサトイモ科の植物。熱帯では多年生ですが日本では一年生です。主成分はデンプンですがビタミンB<sub>1</sub>、B<sub>2</sub>や水溶性食物繊維を多く含んでいます。

### 栽培のポイント

連作に弱いので最低三年は同じ畑で栽培しないようにします。また、乾燥に非常に弱く収量、品質が悪くなるので、湿気のある場所を選び栽培します。

### 家庭菜園向き品種

品種がたくさんありますが「石川早生丸」「早生、白芽」「セレベス」(晩生、赤芽)などといった品種がよいでしょう。

### 畑の準備

植えつけ一〇日前に基肥として一〇m<sup>2</sup>当たり堆肥三〇kgと化成肥料四〇〇gを施し、幅一〇〇～一二〇cmのうねを作ります。

### 植えつけ

種イモは「石川早生丸」で六〇g、「セレベス」では一五〇g程度がよい。小さいものや傷んだものは生育が悪くなります。

芽が二cmになるまで芽出しをしたものを植えつけると生育がそろいます。

植えつけ時期はマルチ栽培(早生)で四月中旬、普通栽培では、四月下旬からとなります。株間は「石川早生丸」では三〇cm、「セレベス」では四〇cmとします。

覆土は普通栽培で五～一〇cm、マルチ栽培では約一〇cmです。覆土後、乾燥を防ぐため堆肥

か稲ワラを敷き十分にかん水します。

### 植えつけ後の管理

植えつけ後、一ヶ月おきに三回程度、追肥を行います。追肥は一〇m<sup>2</sup>当たり化成肥料三〇〇gを施します。

また、追肥の際、土寄せを行います。土寄せは一度に多くせず一回の量が六～九cm程度とします。マルチは八月に除去します。

畑が乾燥すると収量、品質が低下するため、適宜うね間かん水を行ううね間がいつも湿った状態にします。

### 収穫

イモが太っていればいつでも収穫できますが収穫が早いと収量が少なくなります。一般的な収穫はマルチ栽培で九月、普通栽培では一〇月からとなります。

作型	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主要品種	適応地帯
普通				○-△									大吉 (セレベス)	平坦地